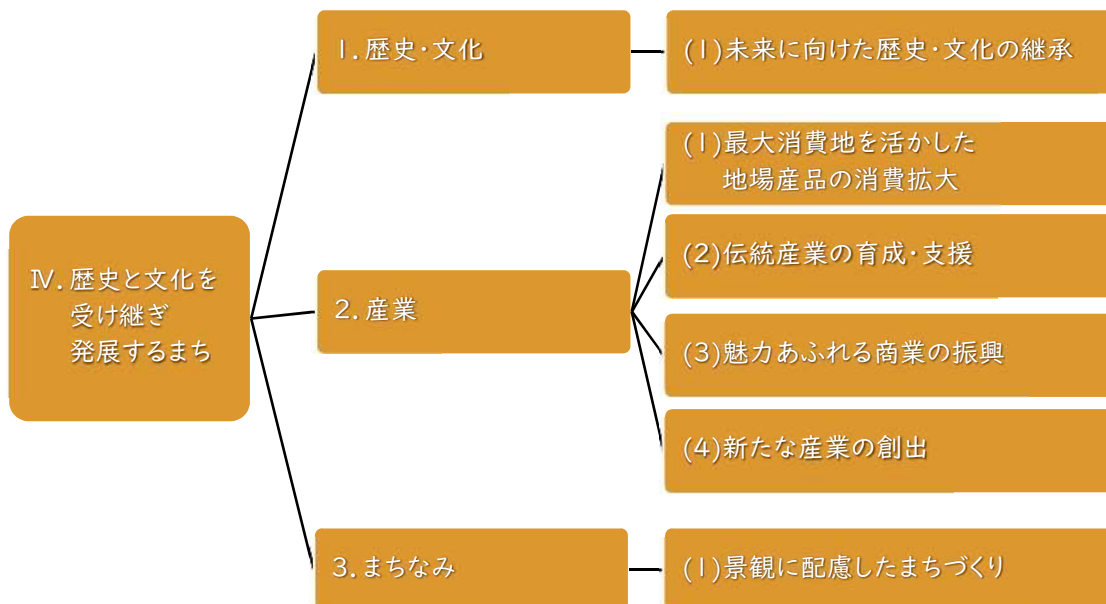


IV. 歴史と文化を受け継ぎ発展するまち



まちづくり計画体系図（再掲）



1 歴史・文化

現状／特性と課題

- しもまち地区や沼垂地区など中央区には、みなとまち新潟を代表する様々な歴史的建造物や貴重な文化が数多く残されています。開港5港の一つとしてのみなとまち新潟の歴史・文化の魅力を区内外へ発信していくとともに、小中学生に伝えるなど次世代へ語り継いでいくことが重要です。
- 中央区は、古町芸妓（げいぎ）をはじめ古くから発展してきたみなとまちの歴史や料亭・発酵食などの食文化など多くの魅力を持っています。区民が誇りと愛着をもってまちに暮らし、多様な世代が地元の歴史や魅力について自信をもって語るができるよう、地域や学校で歴史や文化を学ぶ環境づくりが必要です。
- 中央区には、マンガやアニメに関する施設が複数あるため、これらの施設や人材などの資源を広く活用し、マンガ・アニメ文化を市内外に広めていく取組の充実が課題になっています。



北前船イメージ写真



旧小澤家住宅

まちづくりの方針

（1）未来に向けた歴史・文化の継承

- 若い世代にみなとまち新潟の歴史・文化を継承するため、学校における地域の歴史やまちなか探検などの授業をきっかけに、地域住民の協力を得ながらさらに理解を深め、子どもたち自らの歴史・文化となるよう努めます。
- 自分たちの暮らすまちに誇りを持つことができるよう、地域の歴史や文化にふれあい、学ぶことのできる機会の提供に努めます。
- 中央区において定着している「まち歩き」を関係団体と連携するなどさらに進化させ、地域の魅力の発掘及び区内外への発信に努めます。
- 全国屈指の花街として、特に江戸時代後期から明治時代中頃まで繁栄を極めた古町花街を彩る古町芸妓や料亭文化を保護・育成するとともに、PRに努めます。
- 万代地区の「新潟市マンガ・アニメ情報館」や古町地区の「新潟市マンガの家」を中心に「マンガ・アニメ」で賑わうまちを目指して、「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」などのイベントと連携した関連事業の内容の一層の充実を努めるなど、文化の継承・発展、文化産業の発展と交流人口の増加を目指します。



「えんでこ」まち歩き

2 産業

【現状／特性と課題】

- 中央区は、市内最大の食糧消費地であるため、新潟市の食と花の銘産品である女池菜をはじめ地場産農産物の認知度を高めることで消費拡大を図り、地産地消の一層の推進に努めるなど、農水産業の活性化を図ることが必要です。
- 中央区は、北前船の寄港地として多くの地域と文化的交流が行われ、栄えてきました。中でも新潟漆器は、国の伝統的工芸品に指定され、伝統的な地場産業へと発展しましたが、引き続き区内外への魅力発信していくことが必要です。
- 中央区では、古くから酒、みそ、しょう油、こうじ、漬物など発酵食品の店や蔵・工場などが多く、こうした中央区の伝統的な加工食品を活用した食文化の魅力発信が課題となっています。
- 江戸時代に創業し、現在も老舗料亭として格式を誇る「行形亭（いきなりや）」と「鍋茶屋（なべぢやや）」は、いずれも国の登録有形文化財で、芸妓の歌と踊りや四季折々の日本料理で人々をもてなし、新潟の料亭文化を守ってきました。こうした由緒ある古町芸妓と料亭文化を保護・育成していくことが必要です。
- 中央区の主な商業地である古町地区・万代地区・新潟駅周辺地区は豊かな市民生活の実現や新潟市の経済をけん引する中核としての役割を担っていますが、歩行者数や小売販売額が減少していることから、活性化に向けた対策が必要です。
- にいがた2kmエリアを人・モノ・情報が行き交う活力あるエリアとして経済・産業の発展をけん引する成長エンジンとするための取組が必要です。



古町芸妓と料亭

まちづくりの方針

（1）最大消費地を活かした地場産品の消費拡大

- 区内における農産物の生産量は少ないものの、中央区は市内最大の消費地であるため、新潟市産農産物の活用や地産地消の推進に努めます。



白山市場の朝市

（2）伝統産業の育成・支援

- 中央区の伝統的工芸品産業である新潟漆器や食文化の特徴である発酵食品の魅力を区内外に向けてPRしていきます。
- 全国屈指の花街として、特に江戸時代後期から明治時代中頃まで繁栄を極めた古町花街を彩る古町芸妓や料亭文化を保護・育成するとともに、PRに努めます。
- 伝統産業の持つ魅力を他分野ともつなぎ合わせながら育成・支援に努めます。



新潟漆器



みそ造り

（3）魅力あふれる商業の振興

- きめ細かなサービスの提供やオンリーワン商品の開発・販売、新たな魅力ある店舗の開業、歴史・文化を活用した取組やイベントなど商店街の活性化に向けた取組を支援することにより、魅力あふれる商業の振興に努めます。

（4）新たな産業の創出

- にいがた2kmエリアを産業DX*、ICT*推進の先進エリアとしての取組を強化するほか、AI*やIoT*、5G*をはじめとした先端技術の活用を促進するなど、多種多様な企業や人材が協業・共創するための環境を整え、新規事業の創出の支援に努めます。

3 まちなみ

【現状／特性と課題】

○西大畑地区には、江戸時代から続く料亭「行形亭（いきなりや）」や明治期に建築された「北方文化博物館新潟分館」、大正期に建築された「旧齋藤家別邸」、大正から昭和初期に流行した洋館付住宅などが残っており、歴史的価値の高い建造物が建ち並ぶまちなみとなっています。このまちなみを構成する歴史的建造物の保全を図り、歴史的な佇（たたず）まいを活かした風情ある景観を創り出していく必要があります。



旧齋藤家別邸

○新潟を代表する繁華街の一つである「古町花街」地区の骨格を形成し、懐かしいまちなみの風情を今に留めている小道を、歴史的景観に配慮しながら、賑わいあるまちづくりに向けて整備を進める必要があります。

○古くから受け継がれてきたみなとまち新潟の風情と政令市新潟の高度な都市機能が融合したまちなみづくりを進める必要があります。



江戸時代の町割りはじまるまちなみ



石畳の鍋茶屋通り

まちづくりの方針

（1）景観に配慮したまちづくり

- 「古町」「西大畑」「しもまち」各地区は、みなとまち新潟の人の交流を象徴する固有の歴史・文化資産の保全、新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ都心軸では、日本海拠点都市の風格を感じる都市空間の形成、万代シテイでは賑わいの創出など、各地区特性を活かし、魅力や価値を高め、後世に継承できるよう関係者と連携しながら良好な景観の形成に取り組むとともに、楽しみながら回遊できる都市空間を創出します。
- ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を推進し安全な歩行空間を確保するとともに、都市景観及び都市防災機能の向上に努めます。